

宮城県考古学会連絡紙

第58号

2013年7月28日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室気付 宮城県考古学会事務局

2013年度 宮城県考古学会総会・研究発表会報告

5月19日(日)に、東北歴史博物館において、平成25年度(2013年度)宮城県考古学会総会・研究発表会を下記の日程で開催しました。

■総会 10:00~10:50

社会長挨拶の後、議長団に議長相原淳一氏、副議長武田健一氏、書記大久保弥生氏を選出し、5件の議事が行われました。

議案第1号 2012年度 事業報告

議案第2号 2012年度 収支決算報告・監査報告

議案第3号 2013年度 事業計画(案)

議案第4号 2013年度 収支予算(案)

議案第5号 宮城県考古学会細則の改正(案)

以上の各議案について担当幹事から説明があり、審議の結果、議案第1号から5号まで承認されました。

■研究発表会 11:00~16:40

特集「東日本大震災から復興に向けて」

①特集の趣旨について

藤沢 敦(東日本大震災対策特別委員会委員長)

②雲仙・普賢岳噴火災害から20年を経た知見

鹿又喜隆(東北大学大学院文学研究科)

③被災ミュージアム再興事業について

小谷竜介(東北歴史博物館)

④宮城県被災文化財等保全連絡協議会について

佐藤憲幸(東北歴史博物館)

⑤復興に伴う発掘調査を経験して

阿部明彦(山形県教育委員会)

小淵忠司(岐阜県教育委員会)

研究発表

①陸奥国周辺の須恵器生産 桜井友梓(岩手県教育委員会)

②多賀城と古代都城 家原圭太(京都市教育委員会)

③貞観地震復興瓦生産における新羅人の関与について

佐川正敏(東北学院大学)

展示・レクチャー

宮城県の黒曜石について 佐々木繁喜(宮城県登米高等学校)

※以上特集1件(報告5件)、研究発表3件、遺物展示1件を行った。参加者は延べ150名で、特集では震災後、考古学を通して地域と文化財の関係を考える契機となりました。

2013年度事業計画

- 2013年度総会・研究発表会5月19日
会場：東北歴史博物館 講堂
共催：東北歴史博物館、宮城県教育委員会
多賀城市教育委員会
総会：2012年度の事業報告ならびに決算、2013年度の事業計画・予算案、宮城県考古学会細則の改正
研究発表：特集1件(報告5件)、研究発表3件
- 宮城県遺跡調査成果発表会 12月 会場等未定
共催：宮城県教育委員会、宮城県史跡整備市町村協議会(予定)
事例発表10遺跡、資料発表10遺跡程度を予定
- 会誌『宮城考古学第15号』の発行と『宮城考古学第16号』編集作成
- 連絡紙の発行 年3回発行の予定
- ホームページの運営
- 役員会の開催
代表幹事会・役員会 年6回程度を予定
各幹事会は必要に応じて随時開催
東日本大震災特別委員会が必要に応じて随時開催
- 後援等の実施
- 研究部会の活動への支援
旧石器部会、縄文部会、古墳・古代研究部会
阿武隈水系部会、中世部会

博物館展覧会情報

【東北歴史博物館】

多賀城市高崎一丁目22-1 Tel.022-368-0101

●企画展 「東北大学総合学術博物館のすべてXIII 考古学からの挑戦—東北大学考古学研究の軌跡」

会期：7月13日(土)~9月8日(日)

休館日：月曜日

開館時間：9:30~17:00(入館は16:30まで)

観覧料金：大人500(400)円、シルバー400(320)円、

高校生200(160)円、小中学生100(80)円

カッコ内は20名以上の団体

★記念講演会

日時：8月4日(日) 13:30～15:00

演題：「東北の古墳文化と古代史」

講師：伊藤 玄三 氏(法政大学名誉教授)

日時：8月25日(日) 13:30～15:00

演題：「縄文人骨が語るもの」

講師：百々 幸男(東北大学名誉教授)

※いずれも会場は3階講堂 入場無料 申込不要
演題は変更になる場合があります。

■展示解説

8月11・18日、9月1・8日いずれも日曜日
11:00～12:00

【多賀城市埋蔵文化財センター】

多賀城市中央二丁目27-1 Tel.022-368-0134

●速報展 「発掘された遺跡—平成24年度の調査成果—」

会期：6月29日(土)～9月16日(月)

休館日：月曜日、8月12日～8月19日(館内薫蒸消毒期間のため)

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

【仙台市博物館】

仙台市青葉区川内26 Tel.022-225-3074

●特別展 「滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美—近江巡礼—いのりの至宝展」

会期：7月12日(金)～8月25日(日)

休館日：月曜日(8月12日は除く)

観覧料金：一般1,100円、高校・大学生500円、
小・中学生200円 各種割引あり

●特別展 ミュージアム活性化支援事業

「慶長遣欧使節出帆四〇〇年記念

伊達政宗の夢—慶長遣欧使節と南蛮文化—

会期：10月4日(金)～11月17日(日)

観覧料金：一般800円、高校・大学生600円、
小・中学生400円 各種割引あり

開館時間：9:00～4:45(入館は16:15)

【地底の森ミュージアム】

仙台市太白区長町南4-3-1 Tel.022-246-9153

●特別企画展「ひらけ！旧石器人の道具箱—東北の旧石器」

会期：7月12日(金)～9月16日(月)

休館日：月曜日、8月22日

観覧料金：一般400円、高校200円、
小・中学生100円 各種割引あり

開館時間：9:00～4:45(入館は16:15)

【第4・5回津波堆積物ワークショップ】

主催：日本地質学会・日本堆積学会

日程・会場：9月14日(土)・18日(水) 東北大学川内
北キャンパスマルチメディア棟M206号室

申し込みと詳細は日本地質学会 Web

<http://www.geosociety.jp/science/content0057.html>

会費納入のお願いと会誌「宮城考古学」の残部

2011年度会費未納の会員の皆様、会費を早期に納入願いま

す。2010年度以前の会費が未納の会員の方に対しては会費納入を確認次第、会誌14号をお送りいたします。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。また、住所・電話番号(FAX・E-mail)・勤務先(所属校)などに変更がございましたら、下記事務局までご連絡願います。

会員の方の中で、会誌『宮城考古学』のバックナンバー第5～9号について、入手希望の方は着払い、あるいは直接受け取りに着ていただければ会誌を寄贈(無料提供)します。ご希望の方は下記の事務局まで連絡してください。また、第10号～第14号について、購入を希望の方は、下記事務局あて郵便・電話・FAX等でお申し込みの上、郵便振替にて下記入会案内の口座に代金をお送りください。

第10号 残部僅少 価格：1部 2,500円

第11～第14号 残部あり 価格1部 2,500円

問い合わせ・連絡先：

総務幹事会 代表幹事 鹿又喜隆(事務局)

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科考古学研究室気付 宮城県考古学会事務局

TEL (FAX 共通)：022-795-6073

(鹿又喜隆：※個人情報につき連絡先削除)

会誌「宮城考古学」への投稿案内：原稿募集中です！

<書式について>

①A4版横組(縦297mm×横210mm)。版面は縦233mm×148mm。

②本文は10.5ポイント・明朝体で横書き・45字×35行。

註・引用文献は9ポイント・明朝体で、横書き・47字×48行。ヘッダやフッタなどは記載しないでください

③論文：本文、挿図、写真、表などを含め、18頁以内。

④研究ノート：試論、予察、着想などの短論文。12頁以内。

⑤報告・速報：注目される発掘調査の報告や測量調査など。8頁以内。

⑥資料紹介：8頁以内。

⑦抜刷部数は最大100部(進呈30部を含む)。

<連絡先>

宮城考古学会会誌幹事会 代表 安達 訓仁

※個人情報につき連絡先削除

情報・寄稿などをお寄せ下さい！！

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等お寄せ下さい。また、連絡紙の愛称や内容、取り上げて欲しいこと、提言などご意見ご要望もお待ちしております。

本会Webサイト(<http://www.m-kouko.net/>)では随時情報を募集しております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

<連絡先>柳澤和明(連絡紙代表幹事)

E-mail:info@m-kouko.net(宮城県考古学会)